YAMAGATA★IBUKI Vol.148

山形いぶき

YNA　夢・ナーシング・愛

白鷹町立病院

白鷹町立病院は、飯豊山、白鷹山など四季折々の美しい遠望と、桜と芝生の公園に囲まれた緑豊かな環境で、緩い曲線を基調とした建物が特徴の地域医療病院です。健康福祉センターと併設し、同施設内に病院・訪問看護ステーション・社会福祉協議会・健康福祉課がそろい保健・医療・福祉が相互連携して住民の命と健康を守り支援しています。

「地域住民に信頼される病院」を病院理念に掲げ、看護目標の在宅看護の連携強化とつながる入退院支援の充実を目指し“寄り添いその人らしさを支える看護”を地域多職種チームで取り組んでいます。

総看護師長　伊藤加代子

TOPICS

- 令和2年を迎えて
- 山形県看護研究学会を終えて
- 台風19号被災地での災害支援ナース活動報告
- 保健師・助産師・看護師Ⅰ・Ⅱ職能だより
- 新人ナース　今年の抱負
- 庄内・置賜支部の活動状況
- 医療職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ
- ナースセンターだより

2020年度「日本看護協会通常総会・全国職能別集会」

- 開 催 日：2020年6月11日(木)～12日(金)
- 開催場所：福岡県福岡市　マリンメッセ福岡

2020年度「山形県看護協会通常総会並びに職能研修会」

- 開 催 日：2020年6月19日(金)
- 開催場所：山形県看護協会会館・看護研修センター

2019年(令和元)年度会員数（1月現在）

保健師	368
助産師	361
看護師	6,916
准看護師	178
計	7,823

公益社団法人 山形県看護協会
ホームページ　http://www.nurse-yamagata.or.jp
山形県看護協会
県ホームページ「すまいる山形暮らし情報」からもリンクできます。機種によってはアクセスできない場合があります。

「令和２年を迎えて」

未来に向けて看護の力で更なる地域づくりを目指そう

公益社団法人　山形県看護協会　会長　井上　栄子

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられましたことお喜び申し上げます。

昨年、東北、関東・甲信越を中心に台風19号による記録的な豪雨災害が発生しました。被害にあわれた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。宮城県については災害対応区分レベル2（近隣支援対応）となり、日本看護協会の要請を受けて、10月22日から11月30日まで丸森町の2箇所の避難所に青森・山形県看護協会から災害支援ナースを1箇所につき2名ずつ26名を派遣しました。ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げますとともに、1日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、人生100年時代を見据えた社会の実現に向けて、どこに住んでも適切な医療・介護が安心して受けられるために、地域包括ケアシステムの構築が進み、医療・看護が大きく変化する中で、「あらゆる場、あらゆる人に対する良質な看護の提供」が求められ、看護職に対する期待が大きくなっています。

山形県看護協会では、地域包括ケアの推進に向けて、地域の看護力強化事業を展開しています。この事業は、地域の看護職の団体が支部と連携して、地域における看護職間の恒常的なネットワークを図り、地域の看護力の強化を目的に行う事業です。

令和元年度は、東南村山地域の大規模施設等の看護管理者会が発足しました。5年間で県内4圏域6団体の病院の看護管理者、行政保健師、市町村保健師、訪問看護の管理者等のネットワークの基盤整備ができました。その成果としては、行政保健師と看護管理者の更なる連携が図られ、顔の見える関係から一歩進み、人事交流や入退院ルール策定に関する意見交換等ができる場となっています。

また、訪問看護に関する事業は、訪問看護の管理者の育成と地域毎の看護技術研修とブロック会議を開催し、ネットワークづくりを行っています。そして山形県訪問看護サービス提供体制整備事業は、3年目になりました。病院から訪問看護ステーションへの派遣は、医療機関の退院支援・在宅療養支援の強化と訪問看護の推進に寄与しています。今後も訪問看護の人材育成と推進に向け取り組みたいと思います。

令和2年11月5日・6日に、第51回日本看護学会―在宅看護―学術集会が山形市の山形テルサで日本看護協会との共催で開催します。メインテーマは、「人生100年時代の在宅看護～いきる力と暮らしをつくる～」です。多くの演題を出していただき、皆様の力を結集して、学会を成功させましょう。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

看護職が未来に向けて看護の力で更なる地域づくりを目指して、県看護協会として支援できればと思います。

新しい年が皆様にとって幸多き年でありますことを祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

2019 年度山形県看護研究学会

「つなぐ～基礎教育から看護の未来へ～」を終えて

学会委員会委員長　菊地　圭子

口演第１会場

Nursing Now！

山形県看護研究学会を2019年12月7日（土）に開催し、236名にご参加いただきました。今年度は県内各施設から22題の研究成果が口演発表されました。また、4領域の認定看護師によるNurse Caféでは、DMATcarの展示も行われ大変好評でした。

特別講演は、福井トシ子日本看護協会会長より「あらゆる場で看護実践できる看護師の育成～看護基礎教育の現状と課題～」というテーマでご講演いただきました。Nursing Nowのポスターを全員で手に持ち写真撮影を行うひとコマもあり、福井会長の熱い前向きなエネルギーを参加者が感じるひとときとなりました。

福井会長による講演

交流集会では「人を育てる」をテーマに、看護基礎教育の立場、行政の立場、臨床現場の立場から3人の先生方に現状や課題をご報告いただきました。これまでになく社会が看護を強く求めている時代に質の高い看護を提供するためには、基礎教育、行政、看護の現場、看護協会等が一丸となって「人を育てる」ことに取り組んでいく必要性を強く実感する時間となりました。次年度は第51回日本看護学会-在宅看護ー学術集会が山形テルサホールで、「人生100年時代の在宅看護～いきる力と暮らしをつくる～」をメインテーマに開催されます。そのため山形県看護研究学会は開催致しません。次年度は第51回日本看護学会での研究発表と、多数のご参加をお待ちしております。

交流集会

認定看護師のナースカフェで一息

DMAT Car を見学

栄えある受章おめでとうございます

秋の叙勲　斉藤　愛子 様　（元戸沢村地域包括支援センター包括支援主査）　**瑞宝単光章**

台風19号被災地での災害支援ナース活動報告

災害支援ナースとして活動して

日本海総合病院　救命救急センター　特定認定看護師　時松　緑

時松　緑さん（左）

10月12日、台風19号の記録的な大雨により宮城、福島、長野県で被害を受けた。一つの台風がもたらした被害は最多に上ると国土交通省より発表された。

当県から宮城県丸森町へ10月22日より11月末日まで、延べ26名（全13班）の災害支援ナースが派遣された。小学校体育館に開設された避難所では、水害により住居を失った方々が50名ほど生活を営んでいた。日中は多くの方々が就労や自宅の片づけや通学により不在で、夜間はご家族が揃い寝起きを共にされていた。

今回派遣された災害支援ナースの殆どの方は、初めての支援活動だった。私自身、初回ではないが「被災者の方の役に立ちたい」という気負いと不安が入り混じる複雑な心境で現地に向かった。

様々な制約が生じる災害という状況のなかで、平時同様の看護を実践することは困難である。時間経過と共に時・人・場所の条件（環境）が変化し、「ニーズのマッチング」は効果的かアセスメントした。念頭に置くのは、生活全般における「自立支援」であり、病院内で行われる「医療支援」ではない。「廃用症候群の予防」、「慢性疾患の増悪予防」、「感染症予防」など公衆衛生を主体とした活動を展開した。振り返ると、看護職である自分は何をするためにそこにいるのか、何をするべきかを常に考えていた。出来た事、出来なかった事さまざまあった。現在はこの経験を実践、教育など今後に活かすために、ゆっくり省察している最中である。

災害支援ナースを派遣して

山形県看護協会　事業課　鈴木　由美子

申し送り

10月12日に発生した台風19号により、東北、関東・甲信越を中心に甚大な被害が発生しました。日本看護協会からの災害支援ナース派遣要請を受け、山形県看護協会では災害支援対策本部を立ち上げ、10月22日から11月30日の40日間、宮城県丸森町へ3泊4日で2名ずつ総勢26名の災害支援ナース（以下支援ナースとする）を派遣しました。派遣にあたり、看護管理者の皆様、各施設の皆様より多大なるご協力、ご支援をいただきました。

自衛隊による支援

支援ナースの活動は、避難所における日常生活支援、健康障害の予防や早期発見、感染対策、健康の保持増進、精神的援助などで、主に夜間の対応でした。避難所では、多職種、他団体と協力し、日本看護協会、宮城県看護協会と連携を図りながら支援活動にあたりました。

支援ナースからは、「多くの学びがあった」「今後に役立てていきたい」との報告を受けています。

近年、全国各地そして県内でも地震や水害などの災害が発生しており、支援ナースの活動がより重要になってきています。現在、山形県の支援ナース登録者は88名で、100名の登録者数を目標にしています。山形県看護協会としても、今回の経験を踏まえ、より一層災害支援活動の充実に向け取り組んでまいりたいと考えています。

支援ナース

避難所

派遣先の丸森小学校

保健師 職能だより

保健師職能委員長 山田　晴美

第２回 保健師職能研修会

テーマ 「保健師のための統計活用術」
開催日 令和元年9月7日(土)10:00～16:00
場　所 山形県看護協会会館　３階第１研修室
講　師 山形市保健所長(山形大学名誉教授)　加藤　丈夫　氏

去る9月7日、本協会会館で山形市保健所長の加藤先生より、保健師に必要な基本的統計の講義と演習のご指導をいただきました。
加藤先生は、保健師ジャーナルに「数式不要！はめ込み統計学」を連載されており、その執筆内容をベースに、各自持ち寄ったパソコンを使って実際に統計解析を指南していただき、大変有意義な研修会となりました。
参加者へのアンケートでは、回答者全員が「研修内容とニーズは合っていた」、9割以上の人が「実践活用できる・だいたいできる」と回答し、「先生の丁寧な説明と実際に操作しながらの研修だったので、大変わかりやすかった」「事業評価に活用していきたい」等高評価の意見が多数寄せられました。
事前にパソコンへ無料統計ソフト(R/ＥＺR)のダウンロードを行う等、少々準備は要りましたが、当日は山形市保健所の職員の方々からもサポートいただき、濃厚な研修となりましたことを厚く御礼申し上げます。

助産師 職能だより

助産師職能委員長 菅原　麻里子

保健師・助産師職能合同研修会

開催日 令和元年6月21日(金)　参加者 68名

テーマ 「子育て期における地域包括支援の連携を考える」
講　師　武蔵野大学看護学部看護学科　教授　中板　育美　氏
子どもと子育て世代を対象とした地域包括支援について、保健師・助産師が協働し、切れ目のない連携した地域支援体制を考えることをテーマに研修が行われました。

ウィメンズヘルスケア研修

開催日 令和元年9月28日(土)　参加者 31名

テーマ 「女性のライフサイクルの観点から、女性の成長に伴う身体、精神と社会的機能状況から対象を理解する」
講　師　山形県立河北病院　不妊症看護認定看護師　生亀　公子　氏
CLoCMiPレベルⅢ更新申請に向け、今年度はウイメンズヘルスケア区分に関する研修を企画しました。現代の思春期女性が抱える健康問題や、更年期・老年期女性へのケアなど、助産師として女性のライフサイクルに応じた支援について改めて考える研修となりました。

＜2020年　CLoCMiPレベルⅢ更新申請に向けて＞
2015年CLoCMiPレベルⅢ認証を受けたアドバンス助産師は、2020年8月に更新申請を行う必要があります。県内の助産ケア向上のため、多くの助産師が更新できるよう、引き続き当委員会では研修の開催や情報提供支援を行っていきます。

在宅ケア推進委員会 「看看連携で考える高齢者の救急搬送」を開催して

在宅ケア推進委員会 大竹　まり子

高齢者の救急搬送が増えている現状から「看看連携で考える高齢者の救急搬送」をテーマに10月26日に研修会を開催しました。参加者は92名で、慶應義塾大学医学部公衆衛生学教室講師の山岸暁美先生からご講演いただきました。ACPの背景として事前指示だけでは本人の意思に沿った医療が実践されないなどの研究を踏まえ、人生会議の普及に至った経緯をご教示いただきACPへの理解が深まりました。千葉市の「ふくろうプロジェクト(高齢者本人が希望しない終末期の救急搬送を防ぐための体制整備)」については、緊急時連絡シートがQRコードを読み取るだけというスマートさに驚くとともにプロジェクトを進めた結果、地域が活性化した話を伺い救急搬送の課題解決に向けて夢が広がりました。
シンポジウムでは山形市の救急隊員、救急部看護師、施設看護師、訪問看護師それぞれの立場から、要請されたら救急蘇生せざるを得ない状況、救急搬送後の帰宅困難者の課題、施設での判断の難しさ、在宅看取であわてる家族などの現状報告があり、グループワークで仕組みづくりの必要性やACPについて話し合われました。来年度も本委員会が高齢者の救急搬送の課題に継続して取り組むことになりましたので宜しくお願いいたします。

看護師 職能Ⅰだより

「身体抑制をしない看護」研修を開催して

開催日 令和元年9月12日
看護師職能Ⅰ委員 永寿　鈴

講師の小藤幹恵先生

金沢大学附属病院元看護部長の小藤幹恵先生より倫理観の醸成や継続的な組織改革など、具体的な実践内容をご紹介いただきました。現在も身体抑制ゼロを継続、院内全体の協力体制にも繋がっていると聞き感動しました。
受講者は244名とたくさんの皆さんに参加いただき、「患者の尊厳を守る看護を実践したい」等の感想があり有意義な研修会となりました。

WLBワークショップに参加して

開催日 令和元年10月15日～16日
看護師職能Ⅰ委員 佐藤　聡美

ワークショップでは、「WLBの基本的な考え方」の講演と参加施設ごと多職種で意見交換が行われました。データでは見えない様々な角度から調査結果を分析し、問題や課題が明確化されました。そして、具体的なアクションプランへ繋げていくプロセスに一緒に参加させていただき、病院全体で取り組む事、成果は小さくても継続して取り組む事が大切だと学びました。

「看看連携で考える高齢者の救急搬送」研修を受講して

開催日 令和元年10月26日
看護師職能Ⅰ委員 髙橋　美智子

地域住民や子供たちを巻き込んだ松戸市のふくろうプロジェクトやまちっこプロジェクトをご紹介いただきました。高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられるよう病院、施設、在宅の職域を超えた支援が必要と学びました。シンポジウムとグループワークでは県内の高齢者の救急搬送の現状と課題がわかり理解が深まりました。

看護師職能Ⅰ・Ⅱ・在宅ケア推進委員会合同会議を終えて

開催日 令和元年11月1日
看護師職能Ⅰ委員 河合　美奈子

地域で支える看護をテーマに、看護師職能Ⅰ・Ⅱから事例をあげ検討会を行いました。高齢者の救急搬送や救命処置時の家族との関わりや病院・施設間連携、施設入所者の看取りに関する家族との関わり等、其々の立ち位置から意見交換を行い、多くの学びや新たな発見を得ることができました。
次年度も継続して合同会議をしていきたいと思います。

看護師 職能Ⅱだより

看護師職能Ⅱ副委員長 佐藤　美香

テーマ 「足の病変とフットケアの実際」
開催日　令和元年9月28日(土)
講　師　山形市立病院済生館　皮膚・排泄ケア認定看護師　高橋　真理子 氏
フットケアセンター山形　一般社団法人フットヘルパー協会顧問理事
一般社団法人日本トータルフットマネジメント協会　大場　広美 氏

皮膚の構造、生理の基本的なこと、足のアセスメント、そして演習を通した爪ケア、足病変のケア技術を学びました。受講者からは、とてもわかりやすく充実していたという声とともに、ゾンデなどの使い方について、技術面でもっと学びたいという意見も多数聞かれました。これを受け、今年の導入編に続き、来年度は実践編として小規模施設看護職を対象に研修会を予定しています。

テーマ 「在宅領域における安全管理と看護管理者の役割」
開催日　令和元年11月7日(木)
講　師　千葉大学大学院看護学研究科ケア施設看護システム管理学教授　酒井　郁子 氏

酒井先生のお話から、リスクマネジメントの展開、医療安全の組織的取り組みや事故発生時の対応において、看護管理者の役割はとても重要であると感じました。21名と少ない参加者でしたが、酒井先生の講義後にグループワークが行われたことで、講義内容への理解も深まり「病院、介護施設、訪問看護とそれぞれ違うフィールドで働く看護師で地域包括ケアシステムを考える有意義な時間だった」と感想が寄せられました。

職能Ⅱ領域において、今後更に介護サービスの多様化・施設ケアの資質向上・施設内外の多職種連携と調整に対応できるリーダー看護職の育成が必要とされます。
介護施設等で働く看護職は限られた人員配置の中、研修会になかなか参加できない状況にあると思いますが、今後もより多くの方に参加していただけるような研修会を企画していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

Vol.148

令和元年度

2020年 新人ナース 今年の抱負

『看護の原点を胸に』

山形大学医学部附属病院 **鈴木　愛未**

循環器病センターの緊張感あふれる中で、心電図モニターのハーモニーを聞きながら、未来の自分の鍵を見つけることができました。優しい先輩方に支えてもらい、患者さんからは「鈴木さん今日もよろしく」と声をかけていただき、やりがいと喜びを感じ、頑張っています。

看護の原点を忘れず、ジェネラリストのキャリアプランを描きながら、患者さんのためを想い、真摯に向き合うことのできる看護師を目指していきたいと思います。

「初心を忘れず、一生懸命頑張ります」

尾花沢市中央診療所 **奥山　ゆり**

私の勤務している診療所は、地域に密着した地域医療を提供しています。

訪問診療も行っており、今まで経験した事のない分野も勉強させて頂き、看護師の仕事の幅広さと奥深さを実感しています。

自分の未熟さと力不足を感じる毎日ですが、上司や先輩、患者さんからの温かい言葉に支えられ、頑張っています。

看護師15年目になりますが、初心を忘れず、患者さんやご家族に信頼される看護師になれるように、日々精進していきたいと思います。

「日々研鑽」

白鷹町健康福祉センター **横山　駿**

保健師として働き始めてから１年が過ぎようとしています。主に私は障害福祉分野を担当していますが、様々な業務の中で地域の方々の一生に関わっていく難しさと面白さを学ばさせていただいています。今年は今以上に日々の健診や相談、訪問などから個人や家族の困りごとや地域の課題等をアセスメントし、地域の方に還元できるように研鑽したいと思います。そして白鷹町をよく知り、より好きになる１年にしたいと思います。

「初心の気持ちを忘れずに」

公立置賜総合病院 **中川美菜海**

看護師になり、間もなく１年が経とうとしています。父の死をきっかけに、病気で苦しむ患者さんとその家族を支えたいと思い看護師を目指してきました。4月から新人看護師として働き始め、初めてのことばかりで時間と心に余裕がありませんでした。今年は看護師２年目です。少しでも心に余裕を持ち、初心の気持ちを忘れず、患者さんとご家族に「ありがとう」と言っていただけるような看護を常に考えていきたいです。根拠のある看護と安全な看護技術を提供し、昨年より成長できるように明るく笑顔で頑張っていきたいです。

新年の抱負

北村山公立病院 **志田　まり**

新人看護師として病棟勤務し、業務や学習などに精一杯の日々ですが、先輩方の温かい支援と指導を受け、看護技術や知識が少しずつ身についてきました。

2020年は、さらに知識・技術のレベルアップを目指して努力していきます。また、少し余裕を持ち患者さんと関わり、寄り添いながら個別性を見出し、必要とする看護が提供できるように、しっかりと観察力を養っていきたいと思います。

コミュニケーションを大切に！

山形ロイヤル病院 **王　鳳嬌**

外国人ナースとして、山形ロイヤル病院に入職し８ケ月が過ぎしました。最初は右も左も分からず、職員の皆さんに親切にしてもらい、色々な事を教えていただきました。看護師が患者さんに寄り添い、思いやりをもって看護をしている姿にとても感動しました。看護師とは、医師の指示を受けるだけではなく、患者さんの立場にたってケアをしていく役割があります。寄り添って、暖かい看護をするためには、患者さんとのコミュニケーションが大切です。今年は患者さんとスムーズに話せるように頑張っていきたいと思います。

今年の抱負

鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院 **佐藤　祥穂**

私は回復期リハビリテーション病棟に勤務しています。今年も知識・技術の習得に力をいれ、自己研鑽に努めていきたいです。患者さんと密に関わる看護師だからこそ、気が付く些細な変化があります。その変化に臨機応変な対応できるよう学びを深めていきたいです。まだ慣れない業務に戸惑うことがありますが、医療従事者としても社会人としても未熟な自分を支えてくださるプリセプターをはじめとした先輩方への感謝を忘れず今後も精進していきたいと思います。

２年目に向けて

山形県立河北病院 **笹原　雄人**

新人看護師として約１年間この河北病院で働き、様々な看護技術の実践や、たくさんの患者さんとそのご家族の方との関わりなど、学生時代には無かった経験をすることができています。その中で失敗してしまうこともあり、自分の未熟さを痛感することも多々ありました。これから看護師として２年目を迎えるにあたり、これまでの成功と失敗すべての経験を忘れずに、自分の看護の質を向上させる糧としていきたいと思います。

「日々学び、成長する」

庄内余目病院 **富樫　桜花**

外科・整形外科・歯科口腔外科の病棟に配属となり、処置介助や手術前後の観察など、できる事も増えました。時に壁にぶつかることもありますが、先輩方に声をかけてもらうことで安心して看護を提供できています。入職して２年間は３つの一般病棟をローテーションします。5月から新たな病棟に移動するので、現在の病棟で継続的に学び続け、その学びをプラスにし、ローテーション後も患者さんへ不安がなく笑顔を与えられるように頑張っていきたいです。

「今年の抱負」

山形市健康医療部（山形市保健所）
母子保健課 **波多野美月**

山形で生まれ育って24年、そして保健師として山形市のために働き始めて気づいたのは、私って山形のこと全然知らなかったんだなあ、ということです。この１年で、市の発展計画や地域の実情を学びました。また市民の生活に触れ、その人柄や温かさを感じることができ、これからも山形市に貢献していきたいと感じている日々です。来年度からも業務の中で山形市を知り、保健師としての地区活動に生かしていきたいと思います。

庄内支部 活動状況

庄内支部研修会とまちの保健室を開催して

庄内支部長　高橋　みゆき

庄内支部の主な活動として、今年度は、年2回の研修会と、年3回のまちの保健室を計画しました。

第1回目の研修会は、8月31日に、第1部「新たな時代に未来をつなげる看護の専門性が発揮できる地域づくり」と題して山形県看護協会　井上会長よりご講演をいただきました。第2部では災害支援看護師　伊藤陽子氏より、「災害研修～災害時看護職に期待すること・連携について～」の講演をいただき、173名の参加がありました。「非常に感心の高い内容で、自分も積極的に災害支援ナースの研修に参加したい」「災害支援ナースに登録します」「災害支援ナースに興味がわいた」といった感想が多く寄せられました。第2回目の研修会は、12月14日にリフレッシュ研修として、日本ヨーガ療法学会認定ヨーガ教師　大川春奈先生をお招きし、「セラピーとしてのヨーガ～自分に向き合う時間～」と題し、ヨーガの実技を行いました。66名の方より参加していただき、「リラックスできた。」「楽しかった」などの感想が寄せられ好評でした。

まちの保健室の活動については、毎年7月に行われている国際ノルディックウォークin鶴岡に参加させていただいております。海外の方、小さい子供さんから高齢者の方まで沢山の方が参加される大会です。健康についての関心が高い方々が多く、ウォーキングの前後に血圧測定や健康相談に多くの方が来てくださいました。このような大きな大会に参加できたことはとてもうれしく、今後も引き続き参加させていただきたいと思っています。

10月13日に開催が予定されていた鶴岡市の「市民健康のつどい」は、天候の関係で残念ながら中止となりました。11月3日は、旧平田産業まつりに参加し、まちの保健室を開催しました。血圧測定・体組成測定・健康相談を行いました。その他、白衣を着ての写真撮影なども好評で沢山の子供さんが来てくださいました。

今後も会員のみなさまからのアンケートをもとに、研修会を計画していきたいと思います。まちの保健室活動につきましても、ボランティアへのご協力・ご参加をお願いいたします。

置賜支部 活動状況

置賜支部研修会とまちの保健室を開催して

置賜支部長　高橋　啓子

置賜支部の活動としては、研修会2回とまちの保健室3回の事業を行いました。

第１回研修会では8月24日に、山形県看護協会　井上会長より「新たな時代に、未来につなげる看護の専門性が発揮できる地域づくり」と題しご講演をいただきました。医療を取り巻く社会の変化に看護職として何ができるのか考えさせられました。続いて米沢市立病院　乳がん看護認定看護師の齋藤准子氏より「乳がん検診のすすめ」と題してご講演をいただきました。乳がんは女性の罹患数の第１位であり、乳房を意識し検診を受けることが大切であることを学びました。第2回研修会は11月9日「地域での認知症ケアを考える」と題して公立置賜総合病院　認知症看護認定看護師の田中明美氏、公立高畠病院　認知症看護認定看護師の我孫子久美氏よりご講演とグループワークを行いました。認知症を理解し、置賜地域の現状と地域包括ケアシステムを知ることができ、社会の優しいまなざしが必要であることを学びました。

まちの保健室は7月20日 鷹山の湯、9月15日 西置賜防災フェスタ、10月19日 ハイジアパークで行いました。今年度は温泉施設2か所で開催し、血圧測定や体組成、健康相談を行い子供連れの若い方から高齢者まで幅広い年齢層の方にご参加いただきました。今後も地域住民の方々の健康増進に貢献できるように取り組んでいきたいと思います。

勤務環境改善推進委員会

医療職のワーク・ライフ・バランス活動に取り組んで

寒河江市立病院　総看護師長　渡邉　ひろみ

当病院では、経営的課題解決に向けて、2016年に新改革プランがスタートしました。職員の平均年齢が47歳と高く、活き活きと働き続けられることが課題でした。課題の解決に向けて、医療職のWLB推進ワークショップに参加し、3年間活動を実施してきました。

当病院の推進委員は、「働き続けられる職場」、「働き方を考える」を目的に、これからの職場を担う人材が選出され、看護師、薬剤師、放射線技師等、すべての職種から構成されています。WLBという言葉に馴染みがない委員でスタートし、ビジョンを「私達が誇りを持って活き活きと働ける笑顔の病院」としました。1年目は研修会開催、ポスター・情報誌の提示をし、職員がWLBを理解する事に努めました。2年目はインデックス調査結果に基づく課題解決にむけ、各職種の強みを活かし、1. 制度活用の手引き書作成、2. 疲労回復等の食事について情報誌発信、3. リハビリ室（エアロバイク等）利用による疲労対策、4. 各部署長協力による専門性発揮のための研修支援等を行いました。3年目は介護・看護休暇やバースディ年休取等の制度活用による職員のお互い様意識の醸成を図りました。多職種と共に医療職のWLB推進活動に3年間取組んだことで得たことは、他職種の現状を理解し共有したこと、そしてそれぞれの強みを活かし協働するチームワークです。当病院は4年目を迎えようやくWLB活動が浸透してきたところです。これからも職員と共に笑顔で働き続けられる職場を目指し、取り組んでいきたいと考えます。

会員拡大進委員会

「わたしたちの仲間になってください」
～新人看護職交流会を通して協会の魅力を発信!!～

会員拡大推進委員長　阿部　明美

会員拡大推進委員会が発足されて、今年で５年目となりました。11月8日から12月16日の期間に新人看護職交流会を各支部（置賜・山形・庄内・最北）で行いました。交流会では、スライドショーを用いて看護協会会員拡大活動を行いました。昨年までのスライドショーは、看護協会の活動内容を文字と小さい画像が添付したもので、PR内容としては固いイメージがありました。そのため、昨年度に行ったアンケート調査の結果をもとに山形看護協会の魅力あふれる活動内容をテーマに、これまでの活動イベント写真を厳選し、新たにスライドショーを作成しました。今回新たな試みとして、新人向けにBGM（安室奈美恵）も取り入れてみました。研修後に音楽を聴きながら、山形看護協会の魅力を画像とともに伝えることが出来たと思います。会場によっては、トラブルによりBGMをお届けできなかった事もありましたが、私たちの熱い思いは届けることが出来たと思います。今後も看護協会の魅力をリアルタイムに届けられるようなPR活動を行い、リニューアルされた「キャリーナース」及び「とどけるん」の登録拡大に向け活気ある活動を行っていきたいと思います。

「性の健康教育からいのちの教育へ」　性の健康支援ネットワーク会員　リレー随筆

大熊 菜々子さん（山形済生病院 助産師）にインタビューしました。

Q1 何がきっかけで「性教育」「いのちの教育」を始めてみようと思いましたか。

A 私は、助産学生の時から「いつか自分もいのちの授業がしたい」と思っていました。実際に妊娠期～産褥期の助産ケアに携わる中で、出産がいかに尊く素晴らしいものであるかを感じ、その中で、自分が見てきた「いのちを迎えるそのとき」を多くの人に知ってもらいたいという思いが大きくなりました。前に立って話せるのかという不安もありましたが、性教育に関する研修に参加したり、先輩方の出前授業を見学させて頂いたことで、少しずつ知識やアイデアの引き出しが増え、いのちの授業を始めることにしました。

Q2 「出前授業」を行ってみての感想をお聞かせください。

A 私の最初の出前授業は、小学2年生の授業参観での「いのちの授業」でした。授業参観という機会を生かして、親と子が隣同士に座り、お互いに触れ合いながら親子で共に学べるようなプログラムを考え実践しました。実践してみて、初めは緊張しましたが、子どもたちや保護者の方々の反応がよく、私自身も楽しく話ができました。これからはさらに視野を広げられるように社会情勢にも関心をもち、「いのちの尊さ」に気づく機会に寄り添っていければと思います。

ナースセンターだより

山形県ナースセンターを利用して就業された方々をご紹介!!

Tさん（60代女性）

病院を退職後、自分の時間を大切にしながら短時間や週1～2日程度で就業できれば…と相談。

現在は **期間限定のクリニックでのパート勤務（半日勤務）や、マラソン大会や各種イベントの救護などに就業。**

Sさん（50代女性）

10年以上のブランクがあり、「潜在看護師等復職研修」受講希望と、電話での相談。復職への不安はあるが、短時間での就業を希望。

現在は **「潜在看護師等復職研修」受講後、研修病院での非常勤勤務での就業が決定。1日3～4時間程度の勤務で就業中。**

Sさん（30代女性）

病院等での勤務経験あり。子育てや介護などのため、月曜から金曜までの勤務を希望。スキルアップのため看護技術セミナーを受講。

現在は **平日17時までの小規模多機能型居宅介護事業所に就業が決定。オンコール対応などは免除されている。**

どんな働き方ができるのかな？？

ブランクがあるけれど、復職するための研修などはあるかな？

短時間での勤務もできるかしら？

1日だけの仕事などもあるかしら？

子育てとの両立を考えているけれど、可能かな？

仕事の悩みを聞いてほしい！

ナースセンターにご相談ください！

ナースセンターは、20歳代～70歳代と幅広い年齢の方々にご利用いただいています。ブランクがあって、就業への一歩が踏み出せない方には、病院での3日間の復職研修や看護技術セミナーなどもおすすめです。また、これまでの経験をいかし、マラソン大会やイベントなどの救護や検診（採血や心電図）など1日だけのお仕事などもご紹介しています。

春からの就業をお考えの方も、これからゆっくりお仕事を探したい方も、ぜひ、ご相談ください。

お待ちしております。

第4回 看護技術セミナー・ナースカフェ終了

今年度の看護技術セミナーでは、日常で活かせる救急対応や感染管理などを開催し、多くの方が参加されています。

看護技術セミナー終了後に復職をされた方、受講後の復職を考えている方など、復職への第一歩を踏み出された方々が多くいました。また、ナースカフェでは、あたたかい雰囲気の中で参加者同士の意見交換が活発におこなわれています。

今年度の開催は残すところ、あと1回！

看護技術セミナー・ナースカフェに参加して、復職に向けての準備をしてみませんか？

～次回の「看護技術セミナー・ナースカフェ」は…

令和2年2月26日（水）（場所／山形県看護協会）

『静脈採血や点滴のやり方を学ぼう』

参加者の声を紹介します

- 未就業でも学ぶ機会があることがとてもありがたかった。
- 託児がとても助かった。
- 情報交換ができ、社会につながるいい機会だった。　など

アツい！わかりやすい！講義と実技

心も体も温まる！ナースカフェ

未就業または離職される看護職の皆さまへのお願いです。

看護師等の届け出サイト とどけるん へ届出しましょう!

2014年6月の医療介護総合確保推進法成立に伴い、「看護師等の人材確保の促進に関する法律（人確法）」の改正が2015年10月に施行されました。施行後、看護職は離職時などに住所、氏名、免許番号などの事項を都道府県ナースセンターへ届け出ることが努力義務化されました。

離職時などに届け出た看護職へ都道府県ナースセンターが離職者の状況に合わせた支援を行うことで、看護職としての切れ目のないキャリアを積むことができるよう支援します。

「とどけるん」への登録方法

1. パソコンやスマートフォンからの登録
2. ナースセンターによる代理登録（届出登録用紙は、山形県看護協会のホームページからダウンロードいただくか、山形県ナースセンターまでご連絡ください）
3. 施設による代行届出登録

▼届出登録用紙はこちら

とどけるんQR

お願い 今年度も3月末で病院を退職される皆さまへ「看護職員離職者実態調査アンケート」「届出登録用紙」の提出をお願いすることになりました。ご協力お願いいたします。

〈提出期限：令和２年４月末〉

「看護の仕事相談会」予定

ハローワークやまがた	2／7・3／6
ハローワークプラザやまがた	2／25・3／24
ハローワーク寒河江	2／5・3／4
ハローワーク村山	2／26・3／23
ハローワーク新庄	2／18・3／17
ハローワーク鶴岡	2／21（就職面談会/なの花ホール） 3／11
ハローワーク酒田	2／28（就職面談会/勤労者福祉センター） 3／12
ジョブプラザさかた	2／6・3／5
ハローワーク長井	2／20・3／19
ハローワーク米沢	2／14（就職面談会/グランドホクヨウ） 3／26

【相談無料・予約不要】

山形県ナースセンターでは、県内10か所のハローワーク等をお借りして「看護の仕事相談会」を開催しています。

看護職の相談員が、就職活動の支援や仕事の悩みなどのサポートをおこなっています。就職活動中の方、復職に不安のある方、求人施設の方の相談にも応じています。

ぜひ、お立ち寄りください。

※看護の仕事相談会の開催時間は、10:00～12:00、13:00～15:00です。（ジョブプラザさかたのみ11:00～14:00）

「看護の仕事相談会」はもちろん、山形県看護協会内の山形県ナースセンターで平日月曜から金曜まで相談を受け付けております。電話やメールでの問い合わせもOKです。お子様連れでの相談も大歓迎です。

ナースセンターでの相談は、**雇用保険受給者の求職活動に該当します。**

雇用保険受給者証を持参ください。

「医療職のWLB推進フォローアップワークショップ」開催します!!

日　時：令和2年2月22日（土）13:00～16:30（山形県看護協会で開催）

参加費：1,000円（資料代）

日本看護協会常任理事 熊谷　雅美氏による 講演『ハラスメントのない職場づくりをめざして』

山形県ナースセンター
（山形県看護協会内）
e-mail : yamagata@nurse-center.net
☎023-646-8878（直通）FAX023-643-5727

山形いぶき YAMAGATA IBUKI
山形いぶき 第148号 編集／広報委員会 発行／令和2年1月31日 公益社団法人山形県看護協会 〒990-2473 山形市松栄1-5-45(アルカディアソフトパーク山形内)TEL023-685-8033

カンタン！ 時短レシピ シリーズ 2

フライパンで作れる カンタンもっちもちピザ

アレンジイロイロ！

材　料（20cmフライパン1つ分）

切り餅（4つに切っておく）	5~6 個
玉ねぎ（スライスする）	1/4~1/2 個分
ピーマン（細切り）	1/2 個
ベーコン	1枚
ケチャップ	適量
とろけるチーズ	適量
塩コショウ	適量
バター	適量

※お好みの具材でOK。

作り方

フライパンで丸い形にする場合

1. フライパンにバターを溶かし、餅を並べ軽く塩コショウをふり、フタをして弱火にかけます。
2. 餅が柔らかくなってきたら、フライ返しで裏返しにします。
3. ケチャップをぬり、玉ねぎ、ピーマン、ベーコン、チーズをのせます。
4. フタをしてチーズがとろけたら出来上がり。

理事会等の開催報告

令和元年11月19日（火）　第1回常務理事会

検討事項　1. 2020年度山形県看護協会重点事業（案）について

令和元年12月13日（金）　第7回理事会

審議事項
1. 2019年度山形県看護協会上半期事業報告……〈承認〉
2. 2020年度山形県看護協会上半期決算並びに監査報告……〈承認〉
3. 令和2年度諮問審議事項（案）について……〈承認〉
4. 令和2年度山形県看護協会重点事業（案）について……〈承認〉
5. 令和2年度山形県看護協会教育計画について……〈承認〉
6. 2019年度公益社団法人山形県看護協会2回職能・常任・認定看護亜管理者教育課程教育運営・推薦委員会及び支部長・副支部長会との合同委員会（案）について……〈承認〉
7. 令和2年度山形県看護協会職能・常任・認定看護管理者教育課程教育運営委員の選出について……〈承認〉
8. 令和2年度日本看護協会長表彰候補者の推薦について……〈承認〉

令和元年10月下旬～令和元年12月下旬の山形県看護協会事業実施状況

令和元年10月 22日（火）～11月30日（土）　災害支援ナースを宮城県丸森町に派遣
令和元年10月 30日（水）　2019年度山形県看護協会上半期会計監査
令和元年11月　3日（日）・4日（月）　第13回日本禁煙学会学術総会
令和元年11月　6日（水）　認定看護管理者教育課程セカンドレベル閉講式
令和元年11月　8日（金）　新人看護職交流会（置賜支部）
令和元年11月 13日（水）　4支部会計担当役員との打ち合わせ会
令和元年11月 16日（土）　医療安全やまがたフォーラム
令和元年11月 19日（火）　第1回常務理事会　役員等の推薦に関する合同打ち合わせ会議
令和元年11月 27日（水）　新人看護職交流会（山形支部）
令和元年11月 28日（木）　新人看護職交流会（庄内支部）
令和元年12月　7日（土）　山形県看護研究学会
令和元年12月 13日（金）　第7回理事会
令和元年12月 14日（土）　第2回庄内支部研修会
令和元年12月 16日（月）　第51回日本看護学会在宅看護学術集会　第6回準備委員会　新人看護職交流会（最北支部）

インフォメーション information

2020年度看護協会入会受付中です！

2020年度新規入会・再入会される方は、2020年度の「入会申込書／会員情報変更届」（緑色）の提出が必要です。用紙が必要の方は、所属施設担当者又は山形県看護協会へご連絡ください。継続の方で、会費納入がお済みでない方は、会費の納入をお願いいたします。退会ご希望の方は、3月23日（月）まで山形県看護協会にご連絡ください。

● 2019年度 会館建設積立金納入状況

（2019年12月31日現在）

納入人数	金　額	満額納入者
3,304	16,099,000	167名

皆様の多大なご協力ありがとうございます。
今後ともよろしくお願いいたします。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
今年は、東京オリンピックが開催されます。みなさんで応援しましょう。